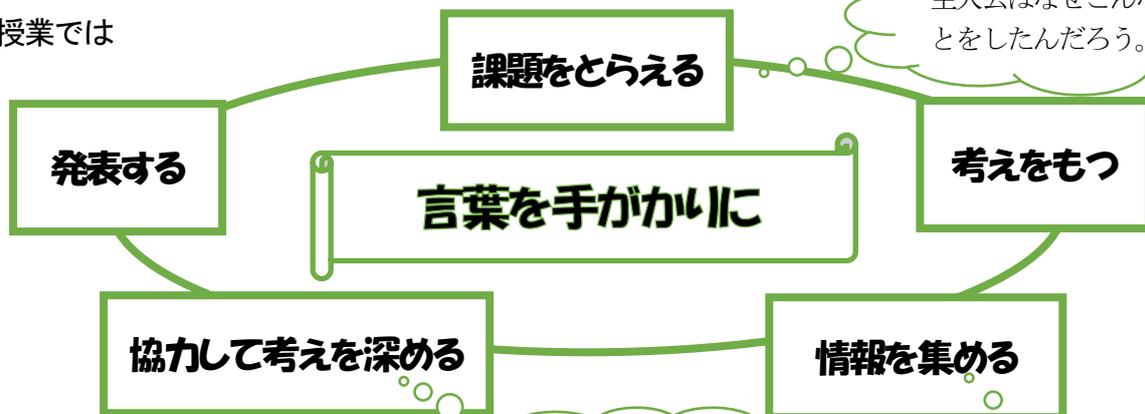


# 国語科の学習

国語は、「言葉」について勉強する教科です。文学作品や説明文の学習などを通して、自分の考えをわかりやすく相手に伝え、相手の考えをしっかりと理解する力をつけていきましょう。

## 1. 授業では



主人公はなぜこんなことをしたんだろう。

そういう見方もあるんだな。なるほど！！

文章にこんなことが書いてあるよ！

## 2. 家庭学習では

### ①教科書の音読 ②ワークを解く ③漢字の練習

- ①教科書をよく読んで自分の考えを書こう。答えやヒントは文章中にあるよ。
- ②答え合わせをしよう。
- ③まちがえた問題を見直そう。条件や答え方は合っているか、ちがう言葉に注目すれば良かった…など。
- ④まちがえた問題をもう一度解こう。

- ①単元別漢字を見ながら練習しよう。
- ②単元別漢字に直接書いてテストしよう。
- ③間違った問題を練習しよう。
- ④もう一度解こう。

○定期的に漢字の小テストをします。

○単元毎に振り返りをします。

## 3. 授業で準備するもの（すべてのものに記名を忘れずに）

- ・教科書 ・ワーク ・単元別漢字 ・ノート ・国語辞典 ・国語便覧
- ・国語のファイル（プリントをまとめておく） ・習字道具（指示があったときに）



## 4. こんな生徒になりましょう！

- ・課題に対して自分の考えをもつ生徒
- ・他の人の話をしっかりと聴く生徒
- ・間違いを恐れず、自分の考えをはっきり発表できる生徒
- ・書くことを大切にする生徒
- ・進んで読書をする生徒



## 5. 評価（成績のつけ方）について

「主体的に学習に取り組む態度」「知識・技能」「思考・判断・表現」の3つの観点で評価し、それをもとに5段階で評価をします。授業や家庭学習で取り組んだ学習内容や理解の程度を、総合的に判断して評価します。

## 〈自主学习ノートの使い方〉

例えば・・・

- 意味調べ
- 授業で学習したポイントをまとめる。

### 〈主語を見つけるコツ〉

- 述語から探す (例) 十二月から雪が降ります。  
降はす...何が? = 雪が 環 述語
- んが、〜は、たけてはな、 (例) 妹も春から中学生だ。  
妹も 母だけ、彼女こそ、など

### 〈連用修飾語、連体修飾語の区別〉

- 連体修飾語...「何」にあたる部分を修飾するもの  
(例) カラスが、先生を、部屋に、夜空が、
- 連用修飾語...「どうする」にあたる部分を修飾するもの  
(例) 膝、だらう、置いた、飯、変わった、

### 〈独立語を見つけるコツ〉

- 種類... あいごつ、提示、感動、呼びかけなど  
(例) あいごつ... こんにちは、さようなら、おはよう  
提示... 平和 (Edo 1940年代)、五月十日 (この日、この場所)  
感動... あら ああ  
呼びかけ... けんた (ちんぱん?) 先生、(おんがらまのせん?)
- 倒置法の場合もある  
(例) おはよう、さようなら

例えば・・・

- 問題を作って解いてみる。
- 覚えなければならぬ古文や文法を繰り返し練習する。

## 漢字の成り立ち

- 国字-日本で作った漢字 (例) 人+動+動+山+土+下=峠
- 問題○
- ① 次の漢字の成り立ちを調べ、象形・指事・会意・形声に分類してみよう。  
(1) 月 (象) (2) 狩 (象) (3) 本 (象) (4) 河 (象)  
(5) 末 (象) (6) 武 (象)
- ② 次の文字の組み合わせで漢字を四字作ろう。  
(各文字は1回ずつ使い、必要ならば、位置に応じて形を変えよう)  
(1) 山、子、月、言、系、石、日、人  
珠、明、若、信
- (2) 言、馬、力、自、方、口、少、心  
鳴、息、舌、訪
- ③ 次の漢字に共通する音を答えよう。  
(1) 飯、板、販 (ん) (2) 暑、語、暑 (じょ)  
(3) 輸、愉、諭 (ユ) (4) 河、何、可 (か)

## 先輩の声

漢字はとにかく繰り返し練習することが一番。2分前学習や空いている時間にこまめに練習しています。

説明的文章は序論・本論・結論の構成を意識しながら読むと頭に入りやすいです。筆者の主張が読み取りやすくなります。

古文は声に出して読むことが大事。古文のリズムが身につくように何回も音読しています。

文章題は文章の中に答えがある場合がほとんどなので、文章をよく読むことを心がけています。

ワークを繰り返し解き、登場人物の心情を読み取れるようにしています。

文法問題は理屈で覚えることが大事。一回解き方がわかればそれに当てはめて解けるようになります。

